

1. 実施概要

バンコクーハノイ、またはバンコクーホーチミン間の東西経済回廊及び第二メコン国際橋を経由する陸上輸送ルートにおいて、日系荷主企業の貨物を積載した車両（コンテナまたはトラック）により走行試験を行います。（バンコク⇄ハノイ 約1,600 km、バンコク⇄ホーチミン 約2,200 km）

【本実証走行実験のルート】

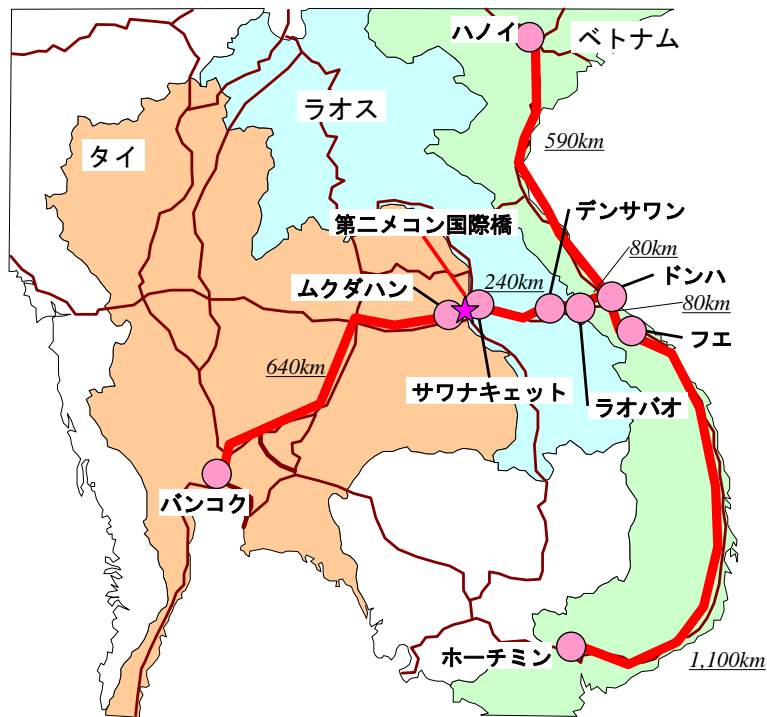


図1 走行ルート

2. 実施項目

1) 現状の物流関連法制度・インフラ等の現状把握・課題の明確化

現状の物流関連法制度・物流関連インフラが、既に実用化・商用化に可能なものであることを実証し、荷主企業や運送事業者等の当該ルートの利用促進を図る。

<実施内容>

- ・現地調査（インタビュー調査及び現地踏査）。
- ・道路環境が貨物に与える影響も把握するため、センサ（加速度計、温湿度計等）を積載した走行試験を実施。

<実施予定>

2007年10月～

<協力予定者>

東芝、富士通、ヤマハ発動機、佐川グローバルロジスティクス、日本通運

2) 国際陸上混載貨物輸送による効率化方策の検討

物流の効率化・トラックの積載率向上方策であり、運賃の低廉化のための必須方策の1つである混載貨物輸送の現状の問題点・課題を整理するとともに、有効性を示し、国際陸上混載輸送を活用した当該ルートの利用促進を図る。

<実施内容>

- ・バンコクとハノイ間において、実貨物を用いた国際陸上混載貨物輸送を実施。
- ・混載したコンテナ貨物をバンコクからハノイ、ハノイからバンコクに輸送。
- ・途中、ラオス国内サワナケットにてコンテナ貨物を積み替える。

<実施予定>

2007年10月末、11月末

<協力予定者>

ホンダ、住友商事

3) 保税倉庫を活用した物流効率化方策の検討

保税倉庫を活用した国際陸上混載貨物の集配・積替を行い、さらなる物流効率化方策の検討・検証とともに、現状の問題点・課題を整理するとともに、有効性を示し、本方策を活用した当該ルートの利用促進を図る。

<実施内容>

- ・バンコクとハノイ／ホーチミン間の国際陸上混載貨物輸送を実施。

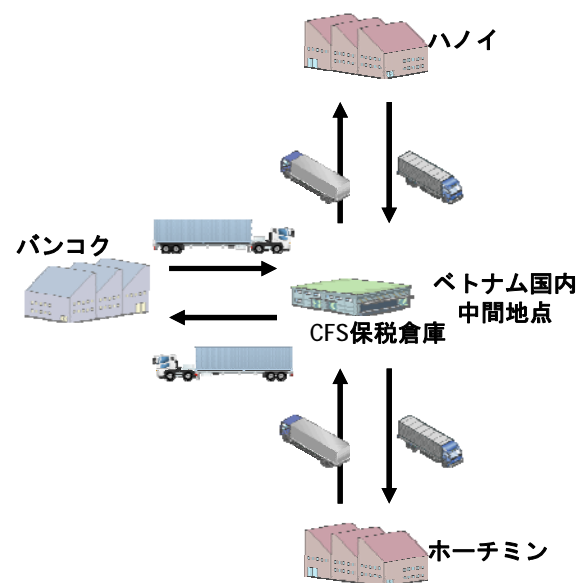


図3 CFS保税倉庫を用いて国際陸上混載貨物輸送をより効率化

- ・途中、ベトナム国内に物流センターとしての CFS 保税倉庫を設け、当該保税倉庫を起点とした集配を実施。

<実施予定>

2007 年 10 月末、11 月末

<協力予定者>

東芝、ホンダ、ヤマハ発動機、佐川グローバルロジスティクス

4) GPS を活用した貨物等の所在管理の検討

より高度な輸送車両管理及び荷主へのサービス向上を実現するために、貨物（車両）位置の把握及びリアルタイム情報提供の可能性を検討し、本システムを活用した当該ルートの利用促進を図る。

<実施内容>

- ・貨物位置の情報提供システム構築の実現性を検証し、施策の有効性を検討。

<実施予定>

2007 年 11 月末

<協力予定者>

山九、NTT ドコモ

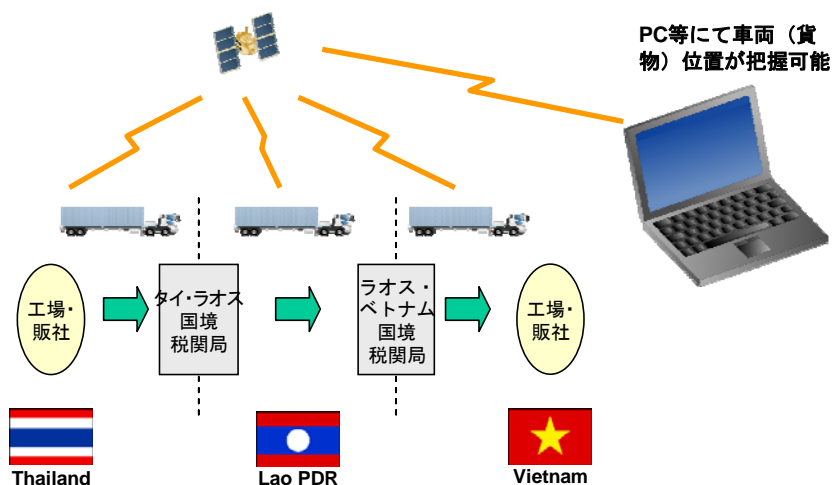


図4 リアルタイムの貨物等の所在管理を可能となるための問題・課題を調査

5) 電子タグを活用したリターナブル物流資材管理の検討

電子タグの活用により、物流効率化とともに地球環境保全に寄与するリターナブル物流資材の利用を促進する。また、再輸入（再輸出）手続きに関わる手続きの簡素化を図り、当該地域における物流効率化の促進・物流の活性化を図る。

<実施内容>

- ・貨物の搬入／搬出時、積み替え作業時等において、リターナブル物流資材に貼付された電子タグの読取等の実験を実施。
- ・リターナブル物流資材の再輸入（再輸出）手続きの簡素化の可能性を検討。

<実施予定>

2007年10月末、11月末、12月末

<協力予定者>

東芝、ヤマハ発動機、三井物産、佐川グローバルロジスティクス、日本通運、日本パレットレンタル、マイティカード

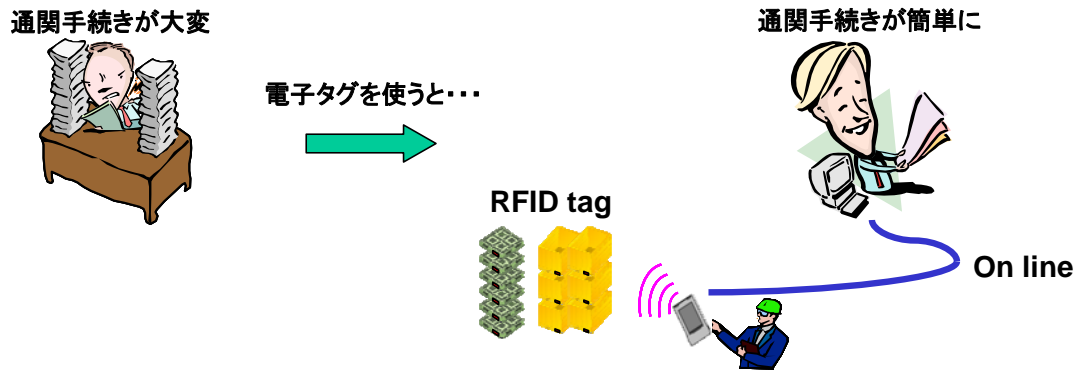


図5 電子タグを使うことにより、通関手続きが簡単に

3. 実施スケジュール（案）

| 実験項目 | 2007 | | | | | 2008 | | |
|-------------------------------|------|----|-----------|-----|-----|------|----|----|
| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| プロジェクト1：現状の物流関連法制度・インフラを調査 | | | → プレ走行 | | | | | |
| プロジェクト2：国際陸上混載貨物輸送による効率化方策 | | | → 準備 実証試験 | | | | | |
| プロジェクト3：保税倉庫を活用した物流効率化方策 | | | → 準備 実証試験 | | | | | |
| プロジェクト4：GPSを活用した貨物、物流資材等の所在管理 | | | → 準備 実証試験 | | | | | |
| プロジェクト5：リターナブル物流資材管理への電子タグの活用 | | | → 準備 実証試験 | | | | | |
| プロジェクト6：WS等の開催 | | | | | | ←→ | | |